

【様式 1-1】

# 伊達市橋梁長寿命化修繕計画

令和 2 年 3 月 (2020. 3)

(令和 7 年 3 月 (2025. 3) 改定)

伊達市  
建設部建設課

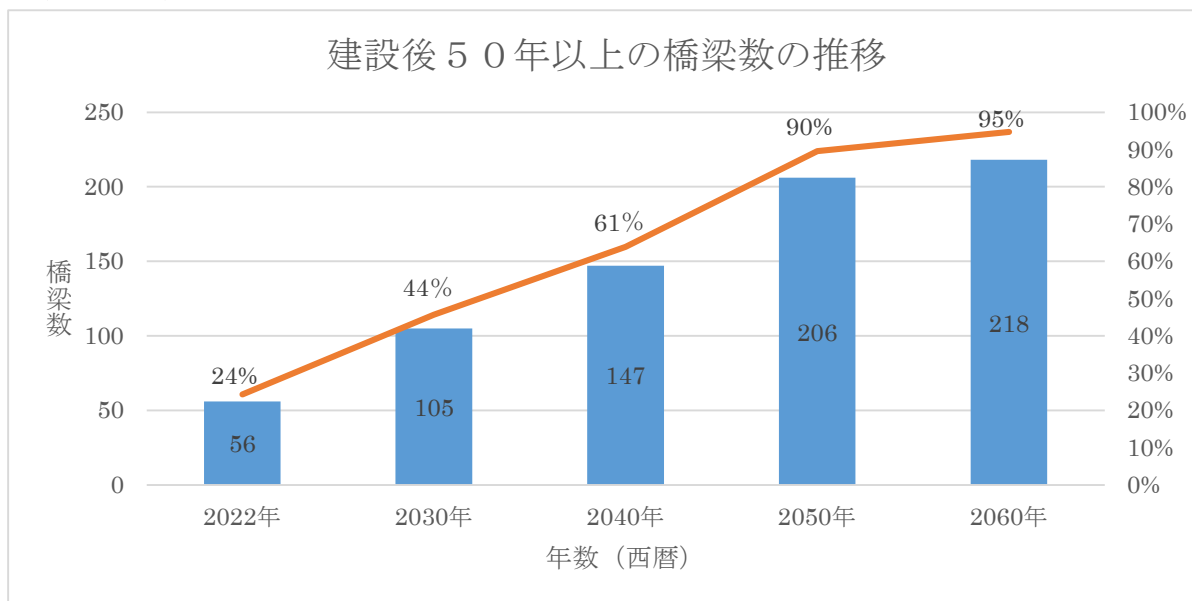
## (1) 伊達市の橋梁、および長寿命化修繕計画の目的について

### 1) 伊達市の橋梁について

伊達市が管理する道路橋は令和6年12月現在223橋で、建設後50年を経過した老朽化橋梁は63橋である。

しかし、2030年には98橋、割合が44%となり、2040年で136橋61%と、急激に高齢化が進行する。

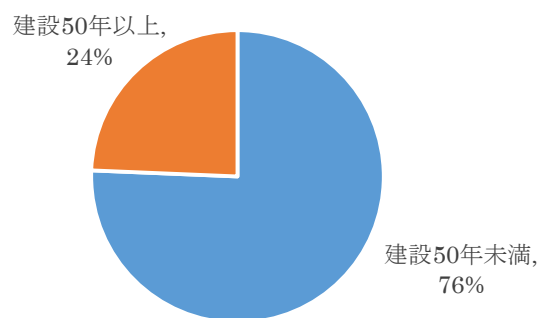
今後、これらの老朽化橋梁が一斉に更新時期を迎えるため、財政的負担が膨大となり、効率的・効果的な維持管理の継続が極めて困難となることが予想される。



2024年時点で建設から50年以上経過している橋梁数は以下の表の通りである。

また、その割合について右図に示す。

建設50年未満	建設50年以上	合計
160橋	63橋	223



上記を背景とし、平成25年度に伊達市橋梁長寿命化修繕計画を策定し、令和2年3月時点で21橋の修繕および架け替えを行った。

### 2) 橋梁長寿命化修繕計画の目的について

伊達市では、老朽化橋梁の増大に対応するため、事後保全的な修繕や架け替えから長寿命化修繕計画に基づく予防保全（計画的な修繕・架け替え）へと政策転換を図っている。これにより、橋梁の長寿命化および修繕・架け替えに係わるコスト縮減を図り、地域の道路ネットワークの安全性・信頼性を確保することを目的とする。

## (2) 長寿命化修繕計画の対象橋梁について

	1級市道	2級市道	その他市道	合計
橋梁数	40橋	44橋	139橋	223橋

## (3) 健全度の把握に関する基本方針について

健全度の把握については、『北海道市町村橋梁点検マニュアル(案)(平成27年8月訂正 北海道道路メンテナンス会議)』に基づいて5年毎に定期点検を実施し、橋梁の損傷を早期に把握する。

定期点検では、下記の表をもとに部材単位の健全性の診断と橋梁毎の健全性の診断を行う。

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

#### **（４）日常的な維持管理に関する基本方針について**

橋梁を常に健全な状態に保つための対応として通常パトロールや清掃のほか路面の損傷などがある場合には、必要に応じて桁下や橋梁周辺の点検を実施する。

#### **（５）対象橋梁の長寿命化および修繕・架け替えに係る費用の縮減に関する基本方針について**

健全度の把握および日常的な維持管理に関する基本方針とともに、予防保全を徹底することにより、修繕・架け替えに係わる事業費の大規模化および高コスト化を回避し、ライフサイクルコストの縮減を図り、次の点に留意する。

- ・ 橋梁の健全度が優良である橋梁や部材に損傷が認められるが、車両の通行に支障が無い軽微な損傷の橋梁は、経過観察とする。
- ・ 点検の結果、車両の安全な通行に支障をきたす恐れがあると判明した場合は、安全確保のために通行規制や重量制限等の措置を講ずる。
- ・ 詳細点検結果に基づく橋梁の健全度把握および損傷状況に応じて橋梁長寿命化修繕計画を見直すこととし、橋梁の修繕や架け替え等の必要な対策を講ずる。

## (6) 長寿命化修繕計画による効果について

損傷が深刻化してから大規模な修繕や更新を実施する事後保全型の維持管理から、定期的な点検を実施して損傷状況を把握・予測したうえで適切な時期に早期予防保全的な修繕を実施することで、橋梁の長寿命化が図られコスト縮減に繋がる。

橋梁点検により現状を把握しながら適切な修繕工事を実施することで、橋梁の安全性が確保される。

路線の重要度に応じた維持管理を実施する（例えば、市街地における橋梁など）ことで、限られた予算の中で効率的・効果的な維持管理を行うことができる。

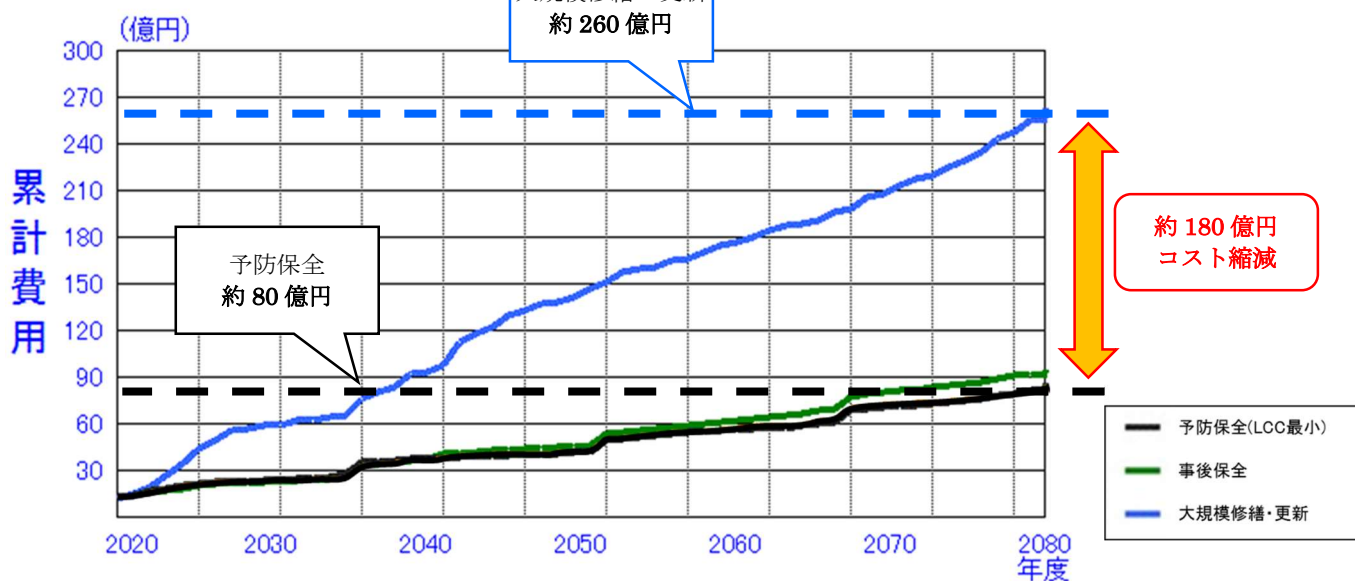
特定の時期に維持管理費を集中させないことで、財政負担の緩和・平準化が図られる。

### 【橋梁マネジメントシステム(BMS)による中長期修繕予算シミュレーション結果】

#### 伊達市 保全・更新費用の推移

伊達市

※ 計算橋梁総数: 213



60年間の投資額累計は、大規模修繕・更新においては約260億円の予算が必要となるのに対し、予防保全においては約80億円となる。

コスト縮減として約180億円が見込まれる。

$$1 \text{ 年当たりのコスト縮減額} : 180 \text{ 億円} \div 60 \text{ 年} = 3.00 \text{ 億円/年}$$

$$1 \text{ 橋当たりのコスト縮減額} : 180 \text{ 億円} \div 213 \text{ 橋} = 0.85 \text{ 億円/橋}$$

※なおBMS計算について、長寿命化修繕計画の対象橋梁は223橋であるが、BMS計算対象外である木橋および新設橋梁等の計10橋について除外して計算しているため、総数は213橋となっている。

## （7）橋梁点検における費用縮減および技術の活用方針

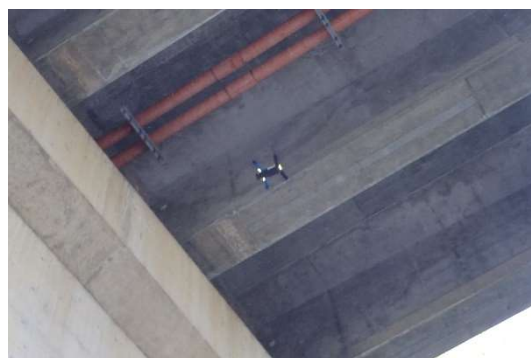
### 1）橋梁点検における新技術の活用について

伊達市では令和5年度より新たに実施する橋梁点検の際、橋梁点検車および高所作業車を使用して近接目視点検を実施している橋梁に対して、新技術情報提供システム（NETIS）や点検支援技術性能カタログなどを参考に、修繕や点検等に係る新技術等の活用の検討を行う。

カメラを搭載したドローンによる点検を行うことで、従来の点検と比べ点検作業に係る費用の削減や作業効率の上昇が可能か検討を行うものである。また、合わせてデジタル技術など点検支援技術の導入により、点検結果の蓄積の効率化や劣化予測の精度を高めるなどの効果が期待できるため、総合的に判断し点検方法を決定する。

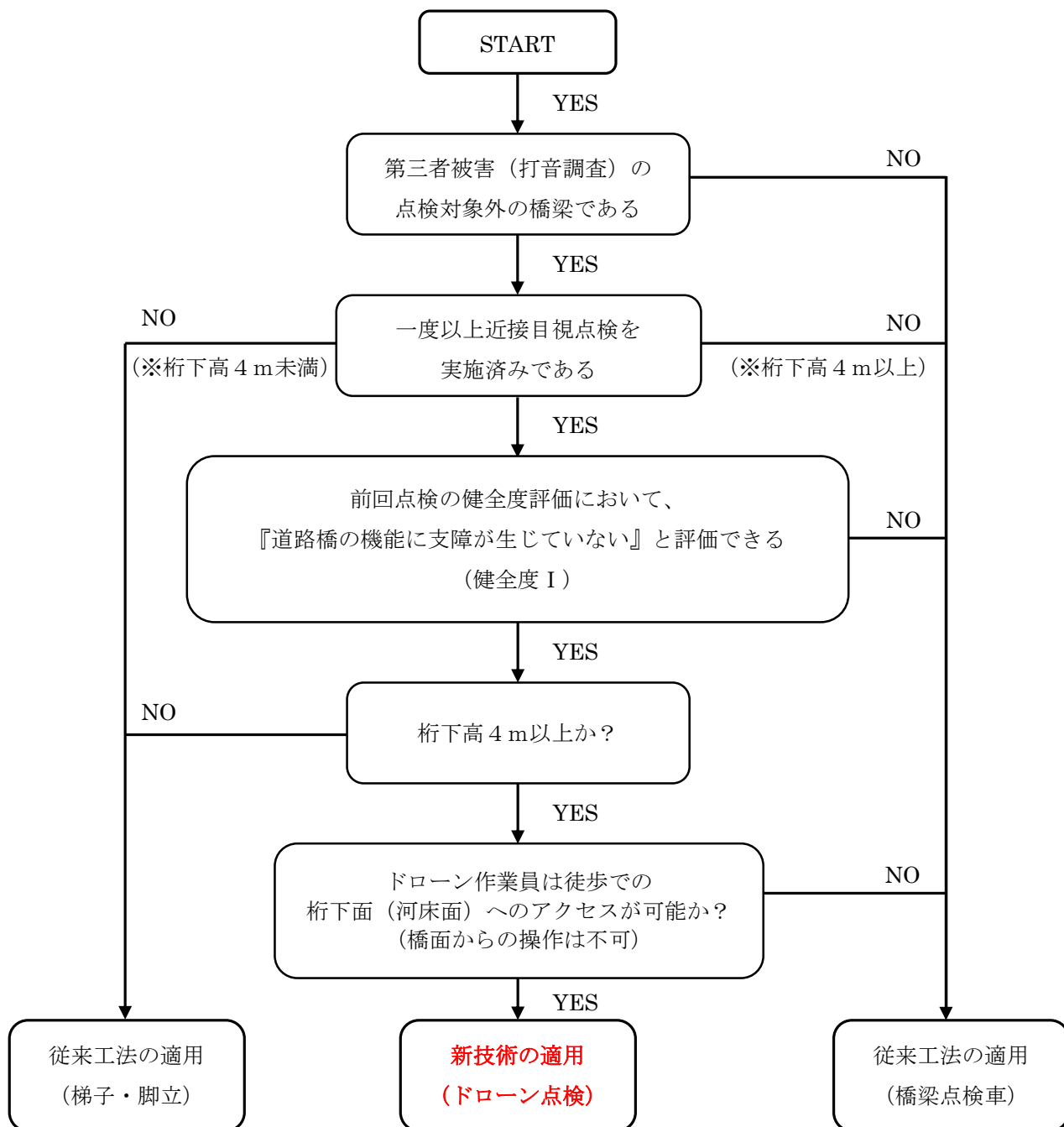
令和7年度までに、管理する223橋すべてについて、費用の縮減や事業の効率化等の効果が見込まれる新技術等の活用を検討するとともに、ドローンによる点検を検討する。ドローンの採用は点検実績を考慮しながら検討するものとする。なお現在の伊達市の管理状況から適用可能な橋梁は19橋である。（様式1-2記載）

#### ・ドローンによる点検状況



・点検における新技術の適用基準

新技術の活用の可否について検討した結果、現橋周辺状況や損傷度から、管理橋梁 223 橋のうち 19 橋 (25 径間) が適用可能と判断されるため、現地調査のコスト面から縮減効果について検討する。



・新技術による点検と従来方法による点検の概算比較検討（参考）

従来工法（橋梁点検車）

橋梁点検車の運転日数は現橋調査歩掛において 0.5 人工／径間のため、日作業量を 2 径間／日とし、安全費・規制機材等を考慮する。

新技術（ドローン点検）

ドローン点検の日当たり作業量について、試験実績および点検業者見積より 800m<sup>2</sup>／日程度が点検可能面積と設定する。

従来工法による作業量は標準歩掛から 600m<sup>2</sup>／日程度となるため、新技術の日当たり作業量を以下とする。

$$\begin{aligned} & \text{ドローン施工面積} / \text{橋梁点検車施工面積} \times \text{従来工法作業量} \\ & = 800 \div 600 \times 2 = 2.5 \text{ 径間} \end{aligned}$$

橋梁点検車（従来）日当たり施工単価					
名称	単位	数量	単価	金額	備考
現橋調査	径間	2	51,200	102,400	
橋梁点検車	日	1	186,700	186,700	
交通誘導警備員B	人	2	12,000	24,000	
規制機材	日	1	15,000	15,000	
合計				328,100	

ドローン（新技術）日当たり施工単価					
名称	単位	数量	単価	金額	備考
現橋調査	径間	2.5	51,200	128,000	
ドローン運転	日	1	201,000	201,000	
交通誘導警備員B	人	-	12,000	-	
規制機材	日	-	15,000	-	
合計				329,000	

対象橋梁施工単価

$$\text{橋梁点検車（従来）} 328,100 \times 25 \text{ 径間} / 2 \text{ 径間} = 4,101,250$$

$$\text{ドローン（新技術）} 329,000 \times 25 \text{ 径間} / 2.5 \text{ 径間} = 3,290,000$$

※比較施工単価は、橋種や径間長による補正は考慮していない

以上より、対象橋梁 19 橋において新技術を活用することで、対象橋梁で約 20%、81 万円程度のコスト縮減が見込める。



## 2) 橋梁補修における新技術の活用について

今後補修設計を行う予定のすべての橋梁（R1年計画策定時から10年間で41橋を予定）に対して、補修工法の選定の際には、従来の工法だけでなく、NETIS等に登録のある新工法・新材料について積極的に検討し採用する。

補修工法・材料の選定の際は、初期コストのみでなくライフサイクルコストを考慮して将来的な維持管理や経済性において有利なものを選定する。また選定時は、補修のみでなく劣化要因の抑制をはかることができる工法・材料を積極的に採用する。

伊達市では令和7年度までに予定している補修工事の際に塗装塗替工でNETIS登録の新材料を採用し、工事費23万円の縮減を図る。

また、長寿命化計画で予定している補修橋梁23橋の補修設計時には新技術の採用について検討を行い、塗装塗替工・伸縮装置取替工などで約300万円の縮減を図る。

## **(8) 橋梁の集約化・撤去について**

迂回路が存在し、橋梁の重要度が特に低い橋梁において、橋梁の健全性に大きな問題が生じた際には、廃止・統合を含めた検討を行う。伊達市では定期点検の結果から健全度Ⅲで補修が望ましい橋梁 5 橋に対して、迂回路があり利用状況が限られていることから、廃止・統合の検討を行う。また、将来的に点検による健全度の判定がⅢとなった橋梁については利用状況から廃止・統合とすべきか検討を行うこととし、集約化・撤去による点検・修繕・更新等に係る中長期的な維持管理費用のうち約 150 万円の縮減を図る。(※維持管理区分の設定については次頁参照)

また、伊達市では令和 7 年度までに、橋梁の集約化を目的として、重要度が低く迂回路が存在する橋梁 1 橋の撤去を検討し、維持管理費用約 25 万円を縮減することを目標とする。

## **(9) 費用の縮減について**

伊達市で行っている橋梁点検業務の委託について、毎年 15～20 橋を直営点検とする。今後の定期点検において、年間点検橋梁の約三分の一程度を直営点検とすることで、点検委託費用のうち 1 巡あたり 50 橋 1150 万円の縮減を図る。

過年度の点検業務の実績から、直営点検によって 1 橋あたり平均約 23 万円のコスト縮減が見込める。令和 7 年度までに全 30 橋で約 690 万円のコスト縮減を目標とする。

## (10) 橋梁の維持管理区分について

橋梁修繕の検討は、『市町村版橋梁長寿命化修繕計画策定の手引き（案）（平成 25 年 3 月一部改訂）（(財)北海道建設技術センター）』に基づき、修繕の順位を決定する指標のひとつとして、橋梁架設からの経過年数、損傷箇所や程度、その橋梁の地域的特性や役割などから総合的に判断して維持管理区分を決定した。

維持管理区分の判定基準は以下の表によるものとする。

維持管理区分	定義	内容	グループ
A	<p>&lt;予防維持管理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化が顕在化した後では対策が困難なもの。</li> <li>・劣化が外へ表れては困るもの。</li> <li>・設計耐用期間が長いもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者被害を及ぼす可能性のある橋梁</li> </ul>	①
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急輸送路を跨ぐ橋梁</li> <li>・DID 地区内の橋梁</li> <li>・橋長 100m 以上の橋梁（歩道橋を除く）</li> </ul>	②
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の命に関わる施設へ繋がる道路の橋梁（病院、重要なインフラ施設への道路）</li> </ul>	③
B	<p>&lt;事後維持管理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化が外に表れてからでも対策が可能、または機能に影響しないもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理区分 A 以外で橋長 15m 以上の橋梁</li> <li>・住民の日常生活を支える道路の橋梁（孤立集落につながる道路等）</li> </ul>	④
C	<p>&lt;観察維持管理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り使用するもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理区分 A 以外で橋長 15m 未満の橋梁</li> <li>・第三者被害をおよぼす可能性のない歩道橋</li> </ul>	⑤

## (11) 修繕の期間および対象の橋梁について

橋梁の選定は、橋梁の健全度と橋梁の維持管理区分を勘案して決定することとし、伊達市においては、次に記載した項目および表に合致した順位で行う。

- ・ 早急に修繕や更新が必要な橋梁
- ・ おおむね 10 年以内に修繕が必要となる橋梁
- ・ 予防保全の観点から修繕を行うべき重要な役割を担っている橋梁

以上の条件に該当する 47 橋を今後 10 年間(2020 年～2029 年) の修繕対象とした。対象橋梁については、別紙計画一覧表に記載する。

今後 10 年間に修繕を行う橋梁の優先順位表

点検 健全度		維持管理区分		
		A	B	C
5	良	—	—	—
4	↑ ↓	—	—	—
3		⑥予防保全	⑧予防保全	⑨予防保全
2		④事後保全	⑤事後保全	⑦事後保全
1	悪	①大規模修繕・更新	②大規模修繕・更新	③大規模修繕・更新

※ ○内の数字が優先順位

※ 維持管理区分Aの⑥予防保全が維持管理区分Cの⑦事後保全より優先している。

## (12) 次回点検・修繕時期、修繕内容について

別紙【様式 1-2】による。

策定した長寿命化修繕計画については、橋梁定期点検の結果や、地震・洪水の影響など、橋梁の状況に応じて随時計画の見直し・修正を行うものとする。

## (13) 意見を聴取した学識経験者および計画策定担当部署

本計画は、専門知識を有する学識経験者の方からの意見を踏まえ策定した。

### 1) 意見を聴取した学識経験者

北海学園大学 工学部社会環境工学科 教授 小幡 卓司

### 2) 計画策定担当部署

北海道 伊達市 建設部 建設課

TEL 0142-82-3293

FAX 0142-22-6132

## (14) 改訂履歴

- ・平成 26 年 3 月 長寿命化修繕計画策定 (旧計画)
- ・令和 2 年 3 月 長寿命化修繕計画策定 (全橋見直し)
- ・令和 4 年 9 月 長寿命化修繕計画部分改定
- ・令和 6 年 12 月 長寿命化修繕計画部分改定 (修繕対象橋梁の修正)
- ・令和 7 年 3 月 長寿命化修繕計画部分改定 (修繕対象橋梁の修正)



橋梁名	道路種別	路線名	所在地	上部形式1	上部形式2	維持管理区分	橋長(m)	全幅員(m)	有効幅員(m)	建設年度	供用年数	最新点検年次	健全性判定区分						修繕計画	対策の内容・時期・事業費(百万円)										事業費(百万円)	新技術による点検(ドローン)の可否条件					点検手法					
													主桁	橋桁	床版	下部構造	支保脚	その他		判定区分	2020 令和2年度	2021 令和3年度	2022 令和4年度	2023 令和5年度	2024 令和6年度	2025 令和7年度	2026 令和8年度	2027 令和9年度	2028 令和10年度		2029 令和11年度	第三者検査点検	点検回数	健全性評価	桁下高		桁下へのアクセス				
山麓中道橋	その他	山麓線	伊達市東有珠町240番	RC橋	RC清積(BOXカルバート)	C	5.10	5.00	4.00	1992	30	2016	II	-	-	II	-	II	III	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	0.0	0.0	点検対象外	1	1	点検済	監視・対策必要	4m以下	アクセス不可	従来点検
山麓橋	その他	山麓線	伊達市東有珠町240番23	RC橋	RC清積(BOXカルバート)	C	5.90	5.00	5.00	1992	30	2016	II	-	-	II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0	点検対象外	1	1	点検済	監視・対策必要	4m以下	アクセス不可	従来点検
館山中橋	その他	館山中線	伊達市館山町162番9	PC橋、PC橋	プレテン中空床版、プレテン中空床版	C	36.70	6.50	5.50	1981	41	2016	III	-	-	II	I	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	15.7	25.8	点検対象外	1	1	点検済	監視・対策必要	4m以上	アクセス可能	従来点検
上館山橋	その他	館山北線	伊達市上館山町88番1	PC橋	プレテン中空床版	B	22.80	6.50	5.50	1982	40	2016	III	-	-	II	I	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	15.7	15.7	点検対象外	1	1	点検済	監視・対策必要	4m以上	アクセス可能	従来点検
館山6号橋	その他	峰線	伊達市上館山町107番8	鋼浴接橋	H形鋼(不明)	C	22.40	8.00	7.00	1977	45	2017	I	I	-	I	III	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	17.2	17.2	点検対象外	1	1	点検済	監視・対策必要	4m以上	アクセス可能	従来点検
館山8号橋	2線	山深通り線	伊達市西園内町205番5	PC橋	PC桁橋(その他)	C	15.10	6.00	5.00	1982	40	2017	I	-	-	I	I	II	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	17.2	21.1	点検対象外	1	1	点検済	対策不要	4m以上	アクセス可能	新技術の適用を検討
浅見橋(上り線)	その他	浅見線	伊達市西園内町221番	PC橋	PC、床版橋その他	C	16.80	2.03	1.53	1987	35	2016	I	-	-	I	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	0.8	0.8	点検対象外	1	1	点検済	監視・対策必要	4m以下	アクセス不可	従来点検
浅見橋(下り線)	その他	浅見線	伊達市西園内町221番	PC橋	PC、床版橋その他	C	16.80	4.27	3.77	1982	40	2016	II	-	-	I	I	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	2.6	2.6	点検対象外	1	1	点検済	監視・対策必要	4m以下	アクセス不可	従来点検
五軒沢橋	その他	うるし山線	伊達市西園内町320番2	RC橋	RC T桁	C	9.70	4.00	3.00	1974	48	2017	I	I	-	I	I	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	2.4	2.4	点検対象外	1	1	点検済	対策不要	4m以下	アクセス不可	従来点検	
志門気橋	2線	志門気通り線	伊達市志門気町11番1	RC橋	RC T桁	C	10.60	5.60	5.00	1963	59	2016	III	III	-	III	II	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	8.7	8.7	点検対象外	1	1	点検済	監視・対策必要	4m以下	アクセス不可	従来点検
樺1号橋(上り線)	2線	志門気通り線	伊達市志門気町35番1	鋼浴接橋	I桁(不明)	C	8.40	5.31	4.91	1952	70	2016	I	I	-	II	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	10.4	10.4	点検対象外	1	1	点検済	監視・対策必要	4m以下	アクセス不可	従来点検
樺1号橋(下り線)	2線	志門気通り線	伊達市志門気町35番1	PC橋	プレテン中空床版	C	10.40	2.34	1.84	2010	12	2016	I	-	-	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	1.0	1.0	点検対象外	1	1	点検済	対策不要	4m以下	アクセス不可	従来点検
樺2号橋	2線	志喜別通り線	伊達市志門気町56番3	鋼浴接橋	I桁(鋼床版)	C	7.40	5.02	4.02	1974	48	2017	I	I	-	I	II	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	8.6	8.6	点検対象外	1	1	点検済	監視・対策必要	4m以下	アクセス不可	従来点検
紅葉沢橋	その他	紅葉沢線	伊達市志門気町50番1	鋼浴接橋	H形鋼(不明)	C	8.40	3.00	3.00	1999	23	2018	II	I	-	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	0.0	0.0	点検対象外	1	1	点検済	監視・対策必要	4m以下	アクセス不可	従来点検



















橋梁名	道路種別	路線名	所在地	上部形式1	上部形式2	維持管理区分	橋長(m)	全幅員(m)	有効幅員(m)	建設年度	開通年数	最新点検年次	健全性判定区分						修繕計画	対策の内容・時期・事業費(百万円)							事業費(百万円)	新技術による点検(ドローン)の可否条件					点検手法					
													主桁	橋桁	床版	下部構造	支承部	その他		判定区分	2020	2021	2022	2023	2024	2025		2026	2027	2028	2029	第三者検査点検		点検回数	健全性評価	桁下高	桁下面へのアクセス	
																					令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	点検対象外		1回目点検済	監視・対策必要	4m以下	アクセス不可	
桂2号橋	その他	桂線	伊達市南橋町332番5	RC橋	RC清橋(BOXカルバート)	C	4.50	5.00	4.00	1991	31	2016	II	-	-	II	-	II	II	II	対策内容	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	23.9	○	○	×	×	×	従来点検
蒲沼橋1号橋	その他	蒲沼橋線	伊達市上長和町189番1	RC橋	RC清橋(BOXカルバート)	C	3.40	6.00	5.00	1992	30	2016	II	-	-	II	-	II	II	II	対策内容	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	0.0	○	○	×	×	×	従来点検
蒲沼橋2号橋	その他	蒲沼橋線	伊達市上長和町116番4	RC橋	RC中空床版	C	12.10	6.00	5.00	1992	30	2018	I	-	-	I	I	I	I	I	対策内容	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	5.1	○	○	○	×	×	従来点検
蒲沼橋3号橋	その他	蒲沼橋線	伊達市上長和町82番11	RC橋	RC清橋(BOXカルバート)	C	4.50	4.00	4.00	1992	30	2016	II	-	-	II	-	II	II	II	対策内容	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	0.5	○	○	×	×	×	従来点検
蒲沼橋4号橋	その他	蒲沼橋線	伊達市上長和町118番1	RC橋	RC清橋(BOXカルバート)	C	3.40	5.50	4.50	1992	30	2016	II	-	-	II	-	II	II	II	対策内容	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	0.0	○	○	×	×	×	従来点検
関内中通橋	2線	関内中通り線	伊達市西関内町40番4	RC橋	RC清橋(BOXカルバート)	C	2.10	3.50	3.50	1991	31	2017	-	-	-	-	-	-	-	I	対策内容	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2.0	○	○	○	×	×	従来点検
松靴橋	1線	泉通り線	伊達市松ヶ枝町230番2	RC橋	RC床版橋(その他)	C	14.10	9.60	8.40	1991	31	2018	I	-	-	I	I	II	I	I	対策内容	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	6.6	○	○	○	×	×	従来点検
北黄金1号橋	2線	遠南通り線	伊達市北黄金1号橋	PC橋	プレテン中空床版	C	11.90	8.70	7.50	1997	25	2018	I	-	-	I	I	I	I	I	対策内容	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	6.0	○	○	○	×	×	従来点検
網代橋	1線	中央通り線	伊達市網代町67番1	RC橋	RC清橋(BOXカルバート)	C	3.40	18.00	18.00	1998	24	2016	II	-	-	II	-	II	II	II	対策内容	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	13.2	○	○	×	×	×	従来点検
鼓別橋	1線	中央通り線	伊達市鹿島町63番4	PC橋	プレテン中空床版	B	15.00	18.00	17.00	1996	26	2018	I	-	-	I	I	II	I	I	対策内容	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	13.2	○	○	○	×	×	従来点検
国島1号橋	2線	竹並通り線	伊達市竹原町53番35	RC橋	RC清橋(BOXカルバート)	C	2.50	18.00	17.00	2001	21	2017	I	-	-	I	-	II	I	I	対策内容	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	13.2	○	○	○	×	×	従来点検
竹並橋	2線	竹並通り線	伊達市松ヶ枝町157番76	PC橋	プレテン中空床版	B	25.00	22.00	21.00	2002	20	2015	I	-	-	III	I	III	III	III	対策内容	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	16.2	○	○	×	×	×	従来点検
榑橋	1線	湯沢共役橋	大滝区北湯沢温泉町	PC橋	プレテン中空床版	B	20.60	11.80	11.00	2006	16	2017	I	-	-	I	I	II	I	I	対策内容	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	8.4	○	○	○	○	○	新技術の適用を検討
境橋	1線	ソーケンオマヅ川沿橋	大滝区愛地町	鋼(鉄)リベット(鋼(非合成))	C	29.70	6.50	6.50	1966	56	2016	II	II	-	II	II	III	III	III	III	対策内容	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	14.8	○	○	×	○	○	従来点検











